

HFSP第12事業年度長期フェロースhip助成対象者（仮訳）

脳分野

名前	国籍	現所属	受入先	研究テーマ・指導教官等
1 GRIBNAU Joost	蘭	エラスムス大学 (ロツテルダム)	蘭 ホワイトヘッド生物医学研究所 (ケンブリッジ)	米 RETT症候群に対するマウスモデル (Rudolf JAENISCH)
2 JANSSEN Peter	ベルギー	ルーフェン・カトリック大学	ベルギー ワシントン大学医学学校 (シアトル)	米 macaque area L I Pにおいて方向識別中に決定を下す神経の表現 (Michael SHADLEN)
3 CORNEIL Brian	加	クィーンズ大学 (キングストン)	加 カリフォルニア工科大学生物部門 (バサティ)	米 後部頭頂葉皮質においてヘッド位置決めに対する神経的相関 (Richard A. ANDERSEN)
4 HALL Anita	英	王立理工医科大学 (ロンドン)	英 カロリナ研究所 (ストックホルム)	スウェーデン ハーキンソン病に対するドパミン作動性ニューロンの開発促進および神経幹細胞治療 (Ernest ARENAS)
5 NERN Aljoscha	独	MRC分子生物学研究所 (ケンブリッジ)	英 カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	米 ニューロン成長円錐ガイダンス期間中のシグナル統合 (Stephen lawrences ZIPURSKY)
6 SAKAI Katsuyuki	日	東京大学	日 神経学研究所 (ロンドン)	英 活動中にある2種類の記憶システム：短期記憶と長期記憶間の動的相互作用 (Richard E. PASSINGHAM)
7 BUREAU Ingrid	仏	フランス・マジエンジール研究所	仏 コールドスプリングハーバー研究所	米 in vivoでの皮質可塑性に関する形態学的・生理学的研究 (Karel SVOBODA)
8 KREKELBERG Bart	蘭	ルール大学	独 ソーク生物学研究所 (サンディエゴ)	米 動作の認知に対する神経コード (Thomas D. ALBRIGHT)
9 MIEDA Michihiro	日	理研	日 テキサス・サウスウェスト大学 医療センター(ダラス)	米 オレキシン含有ニューロンの機能 (Masashi YANAGISAWA)
10 BREAU LIEU Martin	加	マギル大学 (モンリオール)	加 デューク大学 (ダラム)	米 カテコールアミン作動性神経をレスキューしたVMAT2ノックアウトマウスにおけるセロトニン機能障害の研究 (Marc G. CARON)
11 NERI Peter	伊	オックスフォード大学	英 スタンフォード大学	米 ヒトの立体的深部認知の神経相関 (David J. HEEGER)
12 MELLTIZER Georg	オーストリア	国立医学研究所 (ロンドン)	英 IGBMC	仏 脳の領域分割および神経発生におけるOtx2の役割に関する遺伝子分析 (Siew-Lan ANG)
13 KARPUI Marcela	イスラエル	ワイスマン科学研究所	イスラエル カリフォルニア大学 サンフランシスコ校	米 プリオン増殖の構造的要件を分析する目的で作製した関連遺伝子2種 PrpとDoppelのキメラ (Stanley B. PRUSINER)
14 CHARRON Frederic	加	モンリオール臨床研究所	加 カリフォルニア大学 サンフランシスコ校	米 軸索不随分枝におけるスリット誘発シグナリングの特徴づけ (Marc TESSIER-LAVIGNE)
15 HAWKINS Cynthia	加	西オンタリオ大学 (オンタリオ州ロンドン)	加 チューリッヒ大学	スイス 誘発可能Cre組み換え系におけるプリオン増殖、クリアランス、病原性の可逆性 (Adriano-AGUZZI)
16 HARADA Takayuki	日	国立精神・神経センター 神経研究所	日 テキサス・サウスウェスト大学 医療センター(ダラス)	米 変性した網膜における光受容体の再生 (Takahisa FURUKAWA)
17 GOTTSCHALK Alexander	独	フリッピン大学 (マルブルグ)	独 カリフォルニア大学 (ラホーヤ)	米 Caenorhabditis elegansにおけるニコチン適応のメカニズムに関する探索研究 (William R. SCHAFFER)
18 GARDIOL Alejandra	伊	一般普通高等学校 (バリ)	仏 ケンブリッジ大学 ウェルカム/CRC研究所	英 ショクジョウハエの神経系における神経伝達物質受容体とCamKIIメッセンジャー輸送に関するin vivoでの分析 (Daniel ST. JOHNSTON)
19 BORRELL Victor	スペイン	バルセロナ大学	スペイン ソーク研究所 (ラホーヤ)	米 ラットの一次視覚野における細胞タイプ固有の局部回線の発達 (Edward M. CALLAWAY)
20 GIUGLIANO Michele	伊	ジェノバ大学	伊 カリフォルニア大学 ハーヴェー校	米 多電極の基板により研究された活性依存型ネットワークの変更 (Mu-Ming POO)
21 MEDENDORP Wijbrand Pieter	蘭	ナイメヘン大学	蘭 ヨーク大学 (トロント)	加 頭部運動中の視空間更新：回転および並進運動の運動力学の関与 (John Douglas CRAWFORD)
22 KOBAYASHI Katsunori	日	東京大学	日 カリフォルニア大学 ハーヴェー校	米 シナス修正の伝搬に内在する分子メカニズム (Mu-Ming POO)
23 SELIMI Fekrije	仏	パリ大学	仏 ロックフェラー大学 (ニューヨーク)	米 ミトコンドリアの恒常性を調節することによりシナス発生を制御する新規の受容体ファミリーに関する特徴づけ (Nathaniel HEINTZ)
24 NIEDER Andreas	独	ライニッシュウェストフェリシエ工科大学(アヘン)	独 マサチューセッツ工科大学 (ケンブリッジ)	米 マカ属サルの新皮質における多数性に対する言語能力修得前の表現 (Earl Keith MILLER)